

横断的創薬モダリティー技術としての標的指向化 DDS

京都大学大学院薬学研究科
実践臨床薬学分野、薬品動態制御学分野 教授
山下 富義

ドラッグデリバリーシステム（DDS）は、薬物の体内動態を修飾しその有効性・安全性を高める技術である。医薬品開発において、低分子化合物から生理活性ペプチド・タンパク質、核酸医薬品へと創薬モダリティーが拡大する中で、各々の物性に応じた新たな薬物動態学的課題も表出してきた。DDS 研究は、その基本コンセプトを一にするも、各モダリティーが抱える固有の問題に取り組んで発展している。我々は、これまで糖鎖認識を利用した標的指向化 DDS の開発を中心に DDS 研究を展開してきた。本講演ではその設計と評価の中で経験した問題解決について述べ、今後の課題と展望について議論したい。